

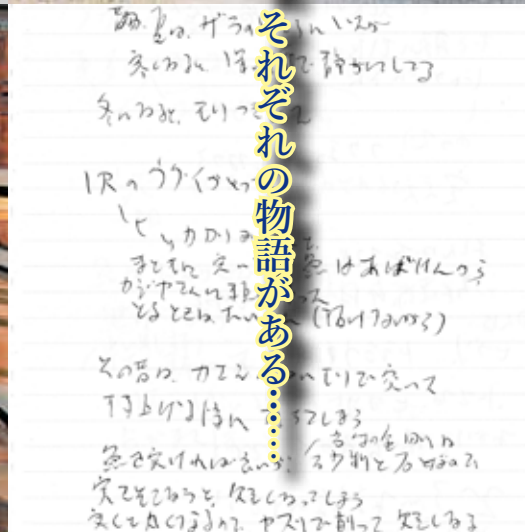


平塚市博物館 春期特別展

# 民具の物語

平成31年3月21日(木)~5月6日(月)

会場 平塚市博物館特別展示室



神奈川県平塚市浅間町 12-41 Tel. 0463(33)5111

## 平塚市博物館

- ◆開館時間 午前9時~午後5時 (入館は4時30分まで)
- ◆休館日 月曜日(ただし4月29日と5月6日は開館、4月30日(火)は休館)
- ◆入館料 無料

当館では半世紀近くにわたり民俗資料の収集活動を続けています。収蔵スペースは限界を超えているものの、現在も毎年20～30名の市民の方から100点以上、多い年は1,000点以上もの民俗資料を受入れています。同じ種類の民具でも一点一点形が異なりますし、資料を受入れる度に新たな発見があるので収集活動をやめることはできません。

寄贈を受ける際には、それぞれのモノをいつ頃どのように手に入れ、どのように使ってきたのかを、寄贈者の方へ問いかけることにしています。民具の使い方を具体的に教えていただける機会であり、ときには意外な使い方をされていたことに驚かされることもあります。

博物館は集めたモノを保管し公開する施設です。モノにまつわる詳しい話をお聞きできれば、そのモノから豊かな情報を引き出すことができます。寄贈されたモノとおなじくらいに寄贈者・使用者の話が大切と考えています。

この度の特別展は、そのようなモノにまつわるコト情報が充実している民具を選んで展示します。ひとつひとつの民具がたどったストーリーを通して、かつての地域の暮らしのようすを振り返っていただければ幸いです。



金目川でウグイのモリ突きに使われた箱メガネ。大きさや形態に工夫が重ねられている。



館蔵で最大サイズとなる長さ173cmの田舟。この田舟が使われた中原の湿田は宅地化され昔の面影はない。昭和30年頃のドブツタの様子と田舟の使われ方を紹介する。



臼と杵をつけて米麦を精製したのは大正時代初期頃までだったという。昭和10年頃につくられたというこの臼は精米精麦以外の用途に使われていた。



全長40mにも達する孟宗竹のヒゴ。平塚市の低湿地で使われていた。いったいどんな用途に使われていたのだろうか。



組紐をつくる綾竹台。かつて平塚市の須賀（現在の港地区）に5軒以上の製紐加工所があり、多くの若い娘が組子として働いていたことはあまり知られていない。

## 関連事業

### ◆記念講演会

#### ①「民具を調べて分かること～平塚と相模原を比べてみると～」

日時：3月31日（日）午後2時～4時 会場：博物館講堂

講師：加藤 隆志 氏（相模原市立博物館学芸員）

#### ②「生きざまを伝える民具、生き方を伝える博物館」

日時：4月14日（日）午後2時～4時 会場：博物館講堂

講師：堀 充宏 氏（葛飾区郷土と天文の博物館学芸員）

### ◆講座「民俗資料収集の現場から」 講師：浜野達也（当館学芸員）

日時：4月28日（日）午前10時～11時30分 会場：博物館講堂

### ◆特別展展示解説

日時：3月23日（土）、4月6日（土）、5月4日（土）

各回午後1時～1時50分

\*すべての行事へご自由にご参加いただけます。

\*記念講演会と講座の定員は先着60名（開場は30分前）。



◆JR東海道本線平塚駅より 徒歩20分（約1km）

バス本厚木駅南口行・田村車庫行、コンフォール平塚前下車徒歩3分。

バス大島線由田村車庫行、美術館入口下車、徒歩3分。

◆小田急線伊勢原駅より

バス平塚駅行・伊勢原地経由平塚駅行、市役所前下車徒歩7分。

◆小田急線本厚木駅より

バス平塚駅行、コンフォール平塚前下車徒歩3分。

# 平塚市博物館

〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町12-41

☎ 0463-33-5111

<http://www.hirahaku.jp/index.html>